

大阪・京都の遺跡を読み解く 考古学研究最前線

大阪・京都文化講座(前期)

全8回

コーディネーター

和藤 正巳 和田 章男
立命館大学文学部教授 大阪大学大学院文学研究科教授

第1回 5月18日(月)

大阪の先史時代
-弥生文化の盛行と変質-

大阪大谷大学文学部 准教授
元大阪大学 招聘准教授
ながとも ともこ
長友 朋子

第2回 5月25日(月)

縄文時代の京都

立命館大学文学部 教授
やの けんいち
矢野 健一

第3回 6月1日(月)

卑弥呼時代の大阪

大阪大学大学院文学研究科 教授
ふくなが しんや
福永 伸哉

第4回 6月8日(月)

平安京前夜
-割拠する古墳時代の首長たち-

立命館大学文学部 准教授
しもがき ひとし
下垣 仁志

6月15日(月) 第5回

野中古墳と河内政権

大阪大学大学院文学研究科 助教
なかく ぼつお
中久保 辰夫

6月22日(月) 第6回

瓦からみた平安京

立命館大学文学部 教授
たかほし しんや
高 正龍

6月29日(月) 第7回

土器からみた平安京

大阪大学大学院文学研究科 教授
たかはし てるひこ
高橋 照彦

7月6日(月) 第8回

京都の近現代を考古学する
-伝統工芸と戦争を中心に-

立命館大学文学部 教授
きだち まさあき
木立 雅朗

京都は千年の都として知られ、大阪にも古代には都が置かれています。その両地域では、都となる以前から現代にいたるまで、長い歴史の営みがあります。そのような歴史を明らかにするには、文字で書きとめられたものだけではなく、土に埋もれた遺跡や出土品の研究も不可欠です。大阪と京都には地下に多くの遺跡が埋もれ、その発掘調査によって過去の知られざる歴史が解き明かされています。この講座では、近年の新たな発掘の成果や、過去に出土していた文物の再評価など、いままさに考古学研究により明らかになりつつある歴史像の一端をご紹介します。謎多き大阪・京都の遺跡探訪への誘いとなることを目指します。

会場 立命館大阪梅田キャンパス(大阪富国生命ビル5階)

時間 14:00~15:40(90分の講演と10分の質疑応答)

受講料 1回 1,500円(7回以上一括申込の場合、10,000円)

定員 各回130名【先着順】※事前申込

定員になり次第締め切らせていただきます。あらかじめご了承ください。

お問合せ・お申込み先 お申込み方法は裏面をご覧ください。

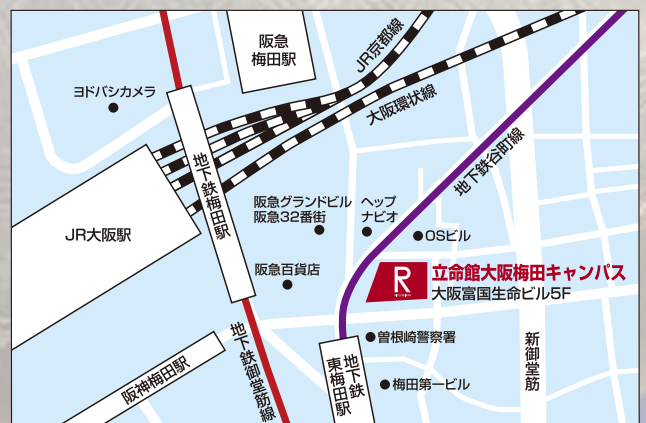
立命館大阪オフィス

〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル14階

TEL:06-6360-4895 FAX:06-6360-4894

メール:osaka-kz@st.ritsumeimei.ac.jp

※お電話でのお申し込みはできません。



アクセス 地下鉄谷町線 東梅田駅 徒歩1分 JR 大阪駅 徒歩5分
地下鉄御堂筋線 梅田駅 徒歩3分 阪急 梅田駅 徒歩5分
阪神 梅田駅 徒歩3分

